

(件名) 令和5年度私立学校運営費補助金等の拡充について

(陳情の趣旨)

現在、国際情勢が緊迫化し急激な円安をはじめとして経済情勢が混乱する中で、我が国では少子高齢化が更に進行していくことが予想されています。

このような厳しい状況にあつて、我が国が今後も国力を維持し発展していくためには、社会的資本ともいえる子供たちを、時代の状況変化にも対応できる真のグローバル人材として育成することが重要となっています。我々、私立中学高等学校は、如何なる状況下にあつても、それぞれの学校が有為な人材の育成を通じて国や社会の発展に寄与していくことを目指して、日々教育活動を続けています。

つきましては、本県の私立中学高等学校がこれからの時代に必要な教育環境を整備し、引き続き特色ある教育を幅広く提供できるよう、私立学校振興助成法の基本理念に基づき、令和5年度私立学校運営費補助金等に係る下記の事項について、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 私立高等学校等の経常費助成費等に対する補助の拡充強化

現在、私立高等学校等は、先の見えない状況の中で、新しい教育への移行、教職員の資質向上、学校運営の効率化等々、様々な課題の解決を迫られています。これらは最早自助努力の範囲を超えるものとなっていることから、私立中学高等学校の教育全般の充実発展のための包括的補助である私立高等学校等経常費助成費等補助について、これまで以上の拡充強化を図るよう強く要望します。

また、エネルギー関連価格をはじめ諸物価の急騰への対策については、既に令和4年度県補正予算において措置されたところではありますが、引き続き、学校経営を直撃することが必至の情勢であり、今後とも然るべき措置の拡充をお願いします。

2 私立高等学校等におけるICT環境の整備に関する補助の拡充強化

学校教育のスタンダードとされている「1人1台端末」とICT支援員の配置、令和4年度から高等学校において必修とされているプログラミング教育を実施する環境も十分に整っていないことから、私立学校のICT化の推進に係る経費について、公私の別なくその全額を国等が負担するなど、制度の抜本的な見直しを強く要望します。

3 私立高等学校等施設の耐震化及びコロナ禍、省エネ・脱炭素化における空調・換気設備に対する補助の拡充強化

学校施設の耐震化は、我が国の将来を担う子供たちの生命と安全を守るだけでなく、災害時には地域の避難場所としての役割を果たすことから、一日も早く完了すべき課題であり、私立学校施設の耐震化の早期実現を強く要望します。

併せて、公私の別なくその費用の全額の公費負担化を実現するとともに、教室及び体育館の空調・換気設備等の整備及び施設の省エネ等の推進のための補助についても更なる拡充を強く要望します。

4 私立高等学校等就学支援金制度の拡充強化

令和2年度から拡充された就学支援金制度については、年収590万円を境に大きな格差が生じていることから、長崎県や大分県と同様、本県独自の上乗せを行うとともに、専攻科生徒への修学支援は、高等学校教育制度上の「専攻科」として、高等学校等就学支援金制度の枠組みでの年収基準及び補助対象上限額の引上げを強く要望します。

また、私立中学校等生徒等に対する就学支援金についても、経済的理由によって修学困難な子供たちが転学を余儀なくされることなく学業を継続できるよう、今後とも必要な支援の拡充をお願いします。